

緊急地震速報が出たとき

適切な対応がとれましたか？

先日の緊急地震速報には、突然のことにおどろきました。結局、誤報で済みましたが緊急時に適切な行動がとれるかどうか良い訓練にもなりました。皆さんはどうされていますか？

8月8日(木) 午後4時56分。緊急地震速報が流れました。訪問中の知人宅で、突如鳴り出した携帯電話、メールを確認すると、奈良県が震源という内容で、すぐにテレビのスイッチを入れたものの、テーブルの下にかくれようかと思えばぐねている間に数分ほどが過ぎました。「揺れないね？甲子園は野球やってるよ」知人と会話を交わしながら時間が過ぎてゆきました。ほとんどなく地震速報が誤報であったことがわかりましたが、

さて、みなさんは突然の緊急地震速報に、どう対処しましたか？翌日、市役所の様子を聞きましたが、対応が良かったのは市役所内で研修を行っていた保育士の方々のようです。庁舎内に自動音声で緊急地震速報が入り、地震到達までのカウントダウンが始まると、すぐに退避行動で防御に入ったと聞きます。子どもを守るためによく訓練されていることがうかがえます。



気象庁は今回の誤報を謝罪しましたが、果たして技術的に避けられる誤報だったのだろうか、疑問にも思えます。誤報は無いほうが良いですが、今回の緊急地震速報は、とつさのときに自らが退避行動をとり得るか、振り返る良い機会になったのではないかと思えます。普段からの心構えが大切なことを実感します。

市議会だより よりわかる誌面に もうすぐ200号

最新の市議会だより、は、もうお手元に届いたでしょうか？

市議会では「市議会だより」を魅力ある内容にしようと、ここ数年誌面の改善に取り組んでいます。

8月15日発行の第199号では、議員の本会議質問の体裁が大きく変わりました。見やすくなっているでしょうか？

各議員の賛否もようやく前号「198号から掲載されるようになりました。

有志議員で 広報研修に参加

8月6日(火)議会広報委員会の議員を中心に有志議員10名が愛知県町村議会広報研究会に参加し、深沢徹氏(広報コンサルタント・元身延町議)の講演を聞きました。

長らく全国議会広報コンクルの審査員も務めている深沢氏のお話を聞き、尾張旭市の

「市議会だより」も、さらに改善に取り組んでいかなければならないと思えるところがい

くつもありました。講演タイトルは「議会広報に求められるものは？ありのままにわかりやすく、住民とともに」でしたが、尾

張旭市議会だよりは、市議会の様子をありのままに伝えているでしょうか？(討論を掲載しなくなってしまうという。わかりやすく伝えるで

ているでしょうか？) (まだまだ難しい用語をそのまま使っている)と、問うだけで課題がずいぶん出てき

ます。議員間の議論を積み重ねて誌面を変えていくため時間もかかりますが「ありのままにわかりやすく、住民とともに」という姿勢を貫けば、議会改革にも貢献できると思われ

ます。議会広報の改善は町村で盛んで学ぶところが多いです。党市議団は同研修に継続的に参加するよう提案して

います。市議会だより次号は200号。節目の記念号として特集ページと、表紙の変更が企画されています。



第27回 愛知県町村議会広報研修会
名古屋市中区 アイリス愛知にて